県産廃協会へ感謝状

南伊勢町　不法投棄物の撤去で

2016 伊勢志摩サミット

県内の産業廃棄物処理業者でつくる「県産業廃棄物協会」（四日市市）が、伊勢市二見町光の街の空き地と南伊勢町伊勢路のサニーロード近くの山林で不法投棄された廃棄物を撤去。南伊勢町は三十日、協会に感謝状を贈った。

来年の伊勢志摩サミットに向け、きれいな自然環境をアピールしようと協会と県が連携。南伊勢町では加盟五社から延べ六十六人が参加し、十一月二十～二十二日に家電や廃タイヤ、家屋の廃材など計九十五トンを処理した。二見町ではボートなど大型の廃棄物もあった。

県環境生活部廃棄物監視・指導課の藤木保実さんは「不法投棄は犯罪。捨てるのは簡単だが、撤去するのは大変ということを分かってほしい」と訴えていた。

南伊勢町役場南勢庁舎であった贈呈式では、小山巧町長が協会の木村亮一会長(七〇)に感謝状を手渡した。小山町長は「気になっていた場所で地元として助かる。今後は監視カメラを設置し、投棄されないようにしたい」とお礼。木村会長は「サミット前に撤去できてよかった。今後も活動していきたい」と話していた。

（安永陽祐、関俊彦）

上不法投棄されたボートを撤去する作業員ら＝伊勢市二見町光の街で　下小山巧町長から感謝状を受け取る木村亮一会長(左)＝南伊勢町役場南勢庁舎で

平成27年12月1日
中日新聞(伊勢志摩版)